

# 八木健の川アート

77

天邪鬼になってみる  
人間は身勝手なものである。その身勝手をあからさまに書くのも人間の素顔を語ることになるから、遠慮せずに書く。川柳は人間を描く文芸だから。  
地デジに慣れてアナログが懐かしい

今月の八木健



特選

選者・川柳アート  
八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)



藤原 白男 (今治市)

蚊取なら献血できる爺の血  
献血できる最高齢は六十歳でしたか。献血できないとなると、妙に寂しいものである。爺はとっても血は若いんで、ホレこの通り、蚊のやつはよく知っている。

佳作



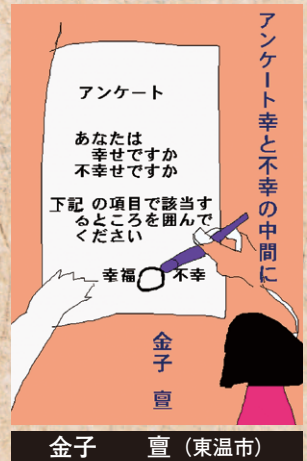
鈴木 秀夫 (新居浜市)

アナログと変わらず地デジコマーシャル  
コマーシャルは確かに中身が同じですから、地デジ用にと作り変えると費用もかかる。変わったことといえば、宣伝するタレントさんの皺が目立つことぐらいかな。



徳本 睦英 (松山市)

千の風に営業妨害され石屋  
確かにイエテルね。石材業界は反論する歌を作るべきだった。私は、これこの通りお墓の中にいます。世の中には放浪癖のある幽霊もいますが、ろくなものじゃない……とね。



金子 亶 (東温市)

アンケート幸と不幸の中間に  
アンケートぐらい馬鹿馬鹿しいものはない。今は亡き村田英雄さん、空港で書類に性別を記入するのにSEXとあったので週二回と記入したそうだが、あれは「マジ」だったか？



村田 節子 (八幡浜市)

川の字が洲の字に変わる大家族  
近頃はベッドの生活が定着したから「川の字」に畳の上で寝た頃が懐かしい。自由な格好で寝るには畳が一番ですね。五人子どもがいて、寝付かない子を母親が叱る風景は、昭和を象徴するものです。



武井 基次 (伊予郡松前町)

懐かしい電話が投票依頼とは  
や、どうもどうも。ご無沙汰。ほかでもないけど、頼むよ投票。美人の奥さんにもヨロシク。ハイハイ。あいつもそそっかしい。候補者名を言わなかったぞ。白紙で投票するか。

古今の名句



坂牧 春妙

倒れそうでもやはり倒れるクレーン車  
坂牧さんは数少ないユーモア川柳作家。「親指に出来てしまった力瘤」「避難せよと言うが化粧が間に合わぬ」「おばあちゃんに地デジを説明してあげて」など佳句が多い。

本コーナーが  
待望の単行本化  
好評発売中!!

「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。